

ビジネス学部4年・市野佑樹さんが 公認会計士試験に合格

1年次から公認会計士を志していた市野佑樹さんは、ビジネス学部の授業やゼミで意欲的に学び、会計分野の専門知識を深めてきました。2年次には日商簿記検定1級に合格し、さらに4年次となった今年度、公認会計士試験に挑戦。合格率11.2%という難関を突破して、目標を実現させました。「親身に支えてくださった先生方、同じ目標に向かって切磋琢磨する仲間と出会えたからこそ、会計学の学修・研究に全力を注ぎ、合格を掴むことができました。その感謝の気持ちを力に変えて、公認会計士として社会に広く貢献したいと考えています」と語った市野さんは、さらなる高みを見据えていました。



健康医療科学部4年・渡邊隼大さんが ボデビル全国大会に出場

スポーツ科学を学ぶ健康医療科学部スポーツ・健康医科学科4年の渡邊隼大さんは、入学当初から学業と両立してウェイトトレーニングに励み、心身を鍛えてきました。2017年度、中部学生ボデビル選手権大会で決勝に進出し、全日本学生ボデビル選手権大会への出場を果たしました。「バイオメカニクスや栄養学などの授業で修得した知識を活用し、自らトレーニングメニューや食事内容を考えました。全国大会を見据えて努力を重ねた日々を通して、継続力や目標達成力が身についたと感じています。その力を就職先でも活かし、社会人として向上していきます」と渡邊さんは力強く語りました。



第3回オープンキャンパスに 1525人が来場

※保護者付添者を除く

9月17日、本年度最後となる「第3回オープンキャンパス」が開催されました。6・7月に引き続き、両キャンパスの雰囲気や施設を体感できる機会とあつて、県外からもたくさんの方にご来場いただきました。

入試相談、学科（専攻）相談、キャンパスツアー、特別企画、淑トークなどの企画に多くの参加者が集まっていました。

特に、学科（専攻）相談ブースでは、間近に迫ったAO入試に向け、教員に積極的に質問をする高校生が多く見受けられました。

見学や講義を終えた参加者は、大学への期待と意欲を膨らませ、入学後の自分を重ねているようでした。また、保護者や付添者からも満足したとの声が多く寄せられました。



Campus Topics

中学校・高等学校

高校秋の文化祭

11月15日、「東海市芸術劇場」において秋の文化祭が実施されました。例年と会場が異なり初めての会場ということもあり、準備の段階から多くの苦労と心配がありました。しかし、当日は淑徳晴れの下、午前中から演劇・ダンスの熱のこもった演技が会場を魅了し、午後には音楽系クラブが聴衆を惹きつける演奏で会場を盛り上げました。秋の文化祭は高3の送別と同時に、各クラブの引退の場とも位置付けられます。近年名古屋市内の劇場の撤退や改修工事が続き、会場確保は至難の状況ですが、高校クラブ活動の集大成としてふさわしい場を提供し、行事の継承に努めていきたいと思っています。



中学校秋の文化クラブ発表会

11月24日、秋の文化クラブ発表会を行いました。美術部、イラスト同好会、自然科学部の作品が大アリーナ入口に展示され、観客を出迎えました。どの作品も丁寧に作り上げられており、目を見張りました。

大アリーナ内では、工夫を凝らした放送部の動画から始まりました。合唱部、フルート同好会、管弦楽部、吹奏楽部、ギター・マンドリンクラブの演奏は観客を楽しませようと選曲にもこだわったものでした。

ダンス部はアラジン、白雪姫、ライオンキング、シンデレラなど8つのパートに分かれエンディングまで、揃った動きで観客を圧倒していました。最後の演劇部の「2年A組かぐや姫」は胸を打つ舞台でした。



スキー学校

12月24日～28日に志賀高原 発哺温泉スキー場にてスキー学校を実施しました。今年度はこれまでより1日短い5日間での実施となりましたが、中1から高3までの64人が参加しました。スキー50人、スノーボード14人それぞれが目標を持ち、指導教員とともに技術の向上に励みましたが、初めてスキー板を履いたという生徒も多くいました。滑れば滑るほど上手なっていく、スキーの魅力に引き込まれていたようです。

山の天気は変わりやすく前が見えないほど吹雪いた日もありましたが、楽しく元気に全日程を滑り切り、充実した5日間を過ごすことができました。



PTA講演会

リオデジャネイロオリンピック女子7人制ラグビーに出場された本校卒業生・兼松由香さんの講演会「夢の桜 満開にが、11月10日に大会議室で開催されました。5歳からラグビーを始めた兼松さんは、愛知淑徳高校在校中はソフトボール部に所属し、インターハイと国体への出場を経験。大学時代にラグビーを再開する

と19歳で日本代表に選出され、ワールドカップに出場。結婚・出産の後、サクラセブンズで活躍しました。何度度も大怪我に悩まされ、その度に不屈の精神と並々ならぬ努力で苦難を乗り越えた経験談や、子育てについて爽やかに語る兼松さんに、清々しさを感じたと同時に活力をもらいました。



2018年度入試説明会

10月28日、中学校入試説明会を実施しました。午前は6年生対象で782人の参加、午後は5年生以下の児童対象で417人の参加でした。午前の6年生対象の部は昨年より参加者は多かったのですが、午後からは雨模様で、昨年より参加者は減りました。今年度は学校紹介の映画を二新しました。「強さとやさし

さ」と題した9分30秒の作品を大アリーナでお披露目。愛知淑徳中学校・高校の学校生活の様子がより分かりやすく伝わったのではないのでしょうか。その後、東ラウンジでの個別入試相談は列をなすほどでした。1月28日の入試日へ向けて、出願者の緊張感が伝わってきました。



ホームカミングデー

10月21日、今年で9回目のホームカミングデーを開催しました。高校第28回の卒業生が還暦を迎えるのを機に、同窓生が母校に還る日、ホームカミングデー（還暦同窓会）を学校と同窓会が共催で行いました。当日は229人の卒業生と、卒業時の担任を始めとする23人の先生方に参加していただきました。学園

70周年記念映画の上映、清明館のカフェテリアでの会食や懇談を通して賑やかに旧交をあたためていただき、全員の校歌合唱で会は閉じられました。準備を重ねられた同窓会役員と同窓生の方々に深く感謝し、この会が今後も続くことを願っています。

